

聖ヨハネ学園

後援会 だより

46



2022年度新規採用者の皆さんと

発行：聖ヨハネ学園後援会
〒569-1032 高槻市宮之川原2-9-1
TEL&FAX 072-687-0548

創始者リリーラ・ブールの 働き・土曜会のこと



社会福祉法人聖ヨハネ学園
後援会副会長 服部 喜代司

私が、9年前ヨハネ学園の監事役の拝命を受けその後、後援会の会計監査役を受けて4年、昨年に副会長を拝命しましたが、何一つヨハネ学園のお役に立てていないのが現状です。井上美津会長から、ヨハネ学園に関わる者として、ヨハネ学園創設に心血を注いで下さったリリーラ・ブール先生の墓前礼拝に参列すべきとの言葉が胸に突き刺さり、この4月2日の墓前礼拝に初めて参加しました。昨年頂いたブール先生の冊子を読み返し、改めてブール先生の功績に感銘いたしました。皆様にも覚えて頂きました。一八八八年五月十三日横浜に着き、五月二十三日にウイリアム主教と共に大阪に到着し、翌朝、大阪知事、

商工会議所会頭により設立された婦人学習会を訪ね、同月二十六日の土曜日に聖歌の練習を助けられたこの日が、大阪聖ヨハネ教会創立の記念すべき日となった。翌日の日曜日には婦人学習会の一室を借り礼拝された。まもなく伏見町の借家を大阪聖ヨハネ教会礼拝堂として礼拝を捧げ伝道された。一八八九年に聖ヨハネ教会婦人会の働きとして貧院(聖ヨハネ学園の前身)が設立された後、ヨハネ教会の南側に救児院と名前を変えて移転した。

ブール先生はこの児童福祉施設(ヨハネ学園)の創立の恩人であり、ヨハネ教会婦人会会長として主イエスのみ旨に忠実な働き人であった。一八九九年には京都平安女学院の教師、一九〇

二年、再び来日婦人宣教師として大阪聖ヨハネ教会で伝道に従事、二十二年間の婦人伝道師としての働きはこれだけにとどまらず、聖パウロ教会、川口キリスト教会の婦人会と子供たちの間で働くことであった。

一八九九年博愛社が社団法人になった時、ブール先生は社員として直接経営に参与、不足がちな同社の資金の為に俸給を割いて寄与したとのこと。次いで養護施設聖ヨハネ学園で設置されている土曜会の経緯について触れさせていただきます。

立教大学のBSA(聖アンデレ同胞会)の第二支部のメンバーは児童を対象として活動する主旨で、昭和三八年四月にスタート。月一回土曜日に聖書の勉強をすることから始まり、土曜会の柱としての働きは、施設の子供たちに学資を援助するための資金を集める事でした。ワークキャンプや学習の補助等各所で行われていました。平成二十二年九月総会にて活動を終了するまでの間ヨハネ学園の支援活動がなされました。

(二面へつづく)

(二面からつづく)

その名称を受継いだ事を
知りました。先達が築き継
承してきた働きと想いを後
世に伝え、より良き社会福
祉法人としての働きを支え
支援していく事が後援会の
使命と今更のように認識し

児童養護施設

聖ヨハネ学園

後援会の勉強会にて

3月26日(土)に聖ヨハネ
教会で後援会の集いが行わ
れました。今回は事前に卒
園生の状況や土曜会奨学金
等についての話のご要望が
あり、40分程度お時間をい
ただき、報告させていただきました。
まずは、初めに高
校3年生の進路についてお
話をさせていただきました。

今年には13名とかなり人数
が多く、就職が6名、進学
は7名で、内訳は大学4名、
短大1名、専門学校(動物
介護、美容)2名です。こ
こ数年は、進学する子ども
達も増え、毎年数名が進学
するようになりました。た
だ、学業とアルバイトの両
立を余儀なくされ、決して
楽な生活ではありません。

た次第です。ヨハネ学園の
働きが、ご利用者、地域、
職員、職場がいきいきと
がやく為に職員の働きを支
え、ヨハネ学園の働きを多
くの人々に伝え、支援者を
増員していく事が私たちの
務めだと確信いたします。

有難いことに給付の奨学金
は増えてはいますが、貸付
に頼らざるを得ない場合も



卒園式の記念写真

あり、まだまだ厳しい状況
です。学園には「土曜会奨
学金(以下土曜会と記載)」
という独自の奨学金制度が
あります。土曜会は立教大
学の学生数名が学園にボラ
ンティアで来られたのをき
っかけに、昭和38年の大学
在学中に発足し、会議を土
曜日に行っていたのがきっか
けで、土曜会という名称に
なったそうです。大学卒業
後に子ども達に何か支援で
きることはないかと考え、
給料の一部を奨学金として
寄付をされることになり、
当時難しかった私立高校へ
の進学時に奨学金として長
らく支給していただきました。
やがて、大阪府が私立
高校無償化になり、私立高
校への支給の必要性がなくな
り、大学等への進学時の
助成へと変わっていきまし
た。当初は貸付だったため
ほとんど申請がなかったの
ですが、2018年に貸付
から給付へ変更となり、そ
れ以降は毎年申請があり、
現在に至っています。奨学
金の内容は、初年度が30万
2年目以降は20万で大学の
場合は、最大90万の支給と
なります。基本的には返済
義務はありませんが、社会

人となって、金銭的に少し
でも余裕があれば、後輩た
ちのために土曜会への寄付
をお願いしています。ただ、
まだ、始まって日も浅いの
で、寄付はほとんどありま
せんが、2年前に専門学校
を卒業した卒園生から寄付
をいただき、金額に関係な
く、本当に嬉しかったのを
はつきりと覚えています。

これかれも、土曜会を発
足された立教大学の卒業生
の方々の素晴らしい意思を
引き続き、できる限り長く
続けていきたいと考えてい
ます。

次に「措置延長」につい
てですが、高校生は、基本
的には18歳の誕生日の前日
までの在園となりますが、
措置延長届を提出すれば、
卒業するまでは在園可能で
す。また、短大、大学への
進学や就職が困難な場合は、
子ども家庭センターの承諾
が得られれば、20歳の誕生
日の前日まで在園可能で、
最近では大学進学等の場合
は22歳の誕生日の前日まで
在園可能になりました。

今年には進学希望者も多く、
学園からの進学も進めたの
ですが、自由に過ごしたい
気持ち強く、全員が自立

生活を選択しています。最
近では、大学3年生まで学
園に在園し、12月に退所し、
学園近くのアパートで自立
生活をしている例もありま
す。次に高校生の現状です
が、ニーズが多様化し、学
園とのミスマッチも見受け
られます。学園としては、
学業や部活動等に力を入れ
て欲しいのですが、それよ
りも携帯やゲームへ対する
要求が強く、成績不振や登
校渋りになる場合もあり、
職員も対応に苦慮していま
す。また、卒園生のアフタ
ーケアについてですが、現
在近隣のアパート2部屋を
借りており、昨年度も職場
の人間関係が原因で退職し、
寮を出ることになり、お金
もなく、住む場所もない卒
園生が自立できるまで7カ
月そのアパートで過ごして
いました。家賃は2部屋で
月14万円の家賃と水道光熱
費が施設負担となるので、
施設として金銭的には厳し
い状況ですが、このアパー
トのお陰で、次の仕事も見
つかり、自力でアパートを
借りることも出来るように
なったので、必要性を強く
感じています。最後に、地
域小規模児童養護施設い

ゆるグループホームについては、2023年9月に2か所目を開設する予定ですが、賃貸物件の確保や職員配置の課題があり、容易ではありませんが、1か所目の経験を生かして、取り組

本部および各施設に

ご協力いただいた方々

（敬称略）

んでいきたいと考えています。限られた時間の中で多岐に渡るお話で、分かりにくい点も多々あったかと思いますが、最後までお聞きいただきありがとうございました。

※複数回寄附して頂くこともあり件数は延べ数で記載してあります
（期間）二〇二二年四月一日～二〇二二年三月三十一日

《本部》

- 阿佐建築工務株式会社 石田 美郎 上村サト子
- 大橋 一 影山 章子
- 片山富美子
- 株式会社一粒社
- ヴォーリス建築事務所 株式会社ニコデザイン
- 木島 出 北川 勝
- 倉戸 直実・幸枝
- 香西 美抄 古谷 美子
- 齊藤 壹 齊藤 豊
- 佐々木晶子 田尻 忠邦
- 東洋英和女学院
- 仁科労働衛生 コンサルタント事務所 仁科 昌久
- 西原 裕之
- 西村 正則・宣子
- 日本聖公会大阪聖愛教会
- 野知 卓司・千秋
- 古本純一郎 正宗 良則

《聖ヨハネ学園》

- 大阪電業協会 有限会社フリーマーケット 123
- 株式会社社万代 公益財団法人 匠・育英会 高槻市歳末たすけあい 運動実行委員会
- NHK歳末たすけあい (大阪府共同募金会) 六件 一、一六四、五〇〇円
- 《聖ヨハネ学園土曜会奨学金》 白川 明 作 典子 居原田眞文 上村サト子

《下田部保育園》

- 西原 裕之
- 株式会社ジャクエツ高槻店 影山 章子 田尻 忠邦

《ミス・ブル記念ホーム》

- 綾小寺美代子 池下 信子 乾 キクノ
- 井上美知子 岩尾久美子
- 上甲 忠嗣 王子 康三
- 岡 ヤヨイ 奥田 惣八
- 影山 章子 河地 文子
- 北出 澄子 坂戸 邦夫
- 坂本 知代 杉田 聡広
- 竹中 久子 田尻 忠邦
- 田中 治美 田淵 稔
- 近森 信人 富田美智代
- 豊田 勝義 名出 敬
- 西池 フミ 西原 裕之
- 長谷川加代子
- 林 秀典 原 郁子
- 原田 裕子 福永芽久美
- 細川 信子 松井 純代
- 松尾 誠 松尾眞理子
- 松尾 充 松尾美保子
- 松崎 汎邦 松山 幸子

《地域生活支援センター光》

- 安達 圭司 安達 哲呂
- 市川あや子
- 今井 清信・温子
- 井上 眞也・美津
- 海野 晴男 大田 順子
- 表 和彦 影山 章子
- 北川 勝 黒川早智子
- 小林 法司 笹倉 健志
- 清水 幸子 副島 克彦
- 副島 康子 高谷 秀夫
- 高見澤 裕 瀧本 島子
- 田尻 忠邦
- 近森齒科西武診療所 近森 信人
- 土井 智仁 土井須美子
- 土井 茂 戸川 明男
- 中村 健 西原 裕之
- 馬場 浩昭 平井 幸子

☆聖ヨハネ学園土曜会奨学金制度とは…

1963年立教大学BSA(聖アンデレ同胞会)第2支部の皆様が土曜会という活動を通して高校進学、特に私学に進学する際の授業料負担に対して奨学金を継続してご支援いただいております。2010年に土曜会の活動を発展的に解消され、その際、学園に対して500万円を寄附していただきました。

みなさまのご意志を「土曜会奨学金」として学園の子どもたちの進学奨励金制度として発足しました。学園後援会からも賛同を得て、2012年度から年間30万円を基金に拠出していただいております。ここに寄附いただきましたみなさまに感謝とお礼を申し上げます。今後とも子どもたちへのご支援をよろしく願っています。

- 西原 裕之 片山富美子
- 上村サト子
- 倉戸 直美・幸枝 八件 五七、九七五円

- 丸岡治三郎 牟田 倫文
- 森中 央 山田 幸子
- 吉田 正 吉弘 靖彦
- 石津自治会 五十六件 九八〇、四七五円

(三面からつづく)

久永 恵子 正宗 良則
三島麻美子 宮脇 敏
宮脇 千世 柳澤 好輝
山口 高子 山尾 則夫
吉村 一哉
淀川食品

五二件 一、六一四、六六七円

《聖ヨハネ子どもセンター》

西原 裕之 米満 司郎
影山 祥子 田尻 忠邦
高野 節子 植田奈津子
七件 一三五、四七五円

後援会にご協力いただいた方々

《敬称略》

※複数回寄附して頂くこともあり件数は延べ数で記載しています

(期間)二〇二二年四月一日～二〇二三年三月三十一日

相原 吉男 片山富美子
赤山 英雄・孝子 株式会社橋本工務店
秋山 公子 河野 芳孝 川村 輝夫
東 敏勝・直子 北川 勝
安達 哲呂 尼子 美喜 暁星小学校シャミナード会
石井 英隆 石田 美郎 久保 孝彦
伊勢田 健 井上恵美子 倉戸 直実・幸枝
井上 真也・美津 黒川早智子 黒川 純栄
今井 清信・温子 劔持 寛人 小泉 正子
今中 喜子 小出 裕司 香西 美抄
岩田幼稚園 小西 陽子 込山 章
上田 浩子 上田 美和 込山 孝子
上村サト子 上村みちえ 小牟田健三郎
宇野 徹 海野 晴男 齊藤 壹 齊藤 豊
江和社会保険労務士事務所 坂口 鳩子 坂本 知代
今村 隆行 桜井 揚子 佐藤 耕一
大阪聖ヨハネ教会 女性 の会 佐藤多紀子 佐藤 信雄
大阪保育福祉専門学校 佐藤 勇治 佐野 信三
大洲幼稚園 司祭 林 正樹 信三
大山 秩子 岡野 俊夫 宗教法人芦屋キリスト教会
岡部 美枝 上甲 幸子 上甲 純司
興津 健蔵・由紀子 杉田 聡広
奥 康功 尾崎 正子 鈴木 慰・満紀子
小野 光雄 影山 章子 鈴木 靖夫

清心中学校 清心女子高等学校
聖バルナバ病院礼拝堂
高木 弘子 高橋 昇三
竹内 信義 竹林 徑一
竹淵 久子 田尻 忠邦
田淵 創 茶本 博史
寺本 和泉
天使幼稚園 豊川 雅章
戸部 依子
中尾由紀子 生徒会
長崎南山学園 中島 将雄
中島 妙子 西池 フミ
中野香津子 西原 裕之
西原 裕之 日本キリスト教会
日本聖公会 西宮中央教会
日本聖公会 大阪聖アンデレ教会
日本聖公会 恵我之荘聖マタイ教会
日本聖公会 大阪教区婦人会
日本聖公会 大阪教区連合男子会
日本聖公会 大阪聖パウロ教会
日本聖公会 聖パウロ教会
日本聖公会 富山聖マリア教会
日本聖公会 宮古島聖ヤコブ教会
日本聖公会 守口聖オーガステイン教会
野知 卓司・千秋 梅花幼稚園
長谷川司法書士事務所 長谷川輝男

「後援会だより」④
●発行 社会福祉法人 聖ヨハネ学園後援会
〒五六九一〇三三 高槻市宮之川原二一九一
●電話・ファックス (〇七二) 六八七〇五四八

2021年度 (2021年4月1日～2022年3月31日)

社会福祉法人 聖ヨハネ学園後援会 会計報告

■2021年度 後援会寄附金			
後援会会費	101件	¥400,000	
一般寄附金	31件	¥212,175	
クリスマス寄附金	30件	¥272,000	
合計	162件	¥884,175	
■2021年度 本部寄附金			
一般寄附金	30件	¥978,475	
クリスマス寄附金	14件	¥105,500	
合計	44件	¥1,083,975	
総合計(後援会寄附金、本部寄附金) ¥1,968,150			

上記金額を、聖ヨハネ学園本部会計の寄附金収入に繰り入れました。

原 郁子 服部喜代司
平賀てる子 プール学院中学校・高等学校
福永芽久美 藤岡 重子 藤村 博昭
藤幼稚園 藤本純一郎 細江 和代
古本純一郎 松尾 信子 松井 純代
松尾 正実・世瑾 松岡 慶一 松崎千恵子
真庭 功 水嶋 保
水畑 裕美 宮脇 弘次
宗像千代子 本井 栄子
森 一太 八尾 恵三
八尾 恵三・恵子
山下 政博・和美
山下 幸子 吉田 由巳
山田 雅夫 四葉幼稚園
義平 雅夫 淀川食品株式会社
四四件 一、〇八三、九七五円

後援会《入会要項》

年間会費 1) 個人会費 1口 2,000円
2) 団体・法人会員 1口 10,000円
いずれも、何口でもよろしくお願ひします。

入会方法 振り替え用紙でご送金いただくだけでも会員登録させていただきます。
郵便振替口座=00910-5-5789
加入者名=(社福)聖ヨハネ学園

寄附控除 ご寄附は次の法律により税法上の優遇措置が受けられます。
所得税法第78条第2項第3号該当
法人税法第37条第3項及び第4項第3号該当

